

山崎北小学校 ほげんしつ

少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じられるようになりました。季節の変わり目であり、進級・進学の日でもある季節。1年間をふり振り返り、新しいスタートに向けて準備をしましょう。また、1年間の生活や健康についてもふり返ってみましょう。

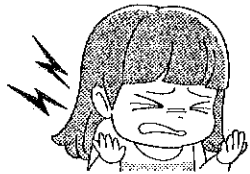
3月3日は耳の日。耳の穴の中や奥で病気が起こると、痛みが出るだけでなく、音が聞こえにくくなって、将来にわたって悪い影響を及ぼすこともあります。耳の穴の奥で起こる病気のサインを知っておき、何か異変を感じたら、病院で診てもらいましょう。

耳で注意が必要な症状

下に挙げた症状があるときは、病院で診てもらいましょう。

耳の中に痛みがある

音が聞こえにくく感じる



耳の中でガサガサと音がする
耳鳴りがする

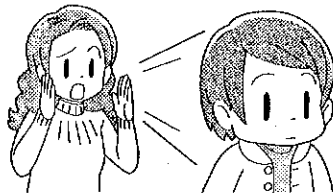


ほかにも

- ・耳が詰まっているように感じる
(耳がふさがったように感じる)
- ・耳の中に小さいもの(異物)が入ったなど

おうちの人へ 子どもの「聞こえにくい」サインを知ろう

耳に何か異常が起こり、音が聞こえにくくなっていても、子ども自身があまり「聞こえにくい」ことをおうちの人に言わない場合があります。「テレビの音を大きくする」、「呼びかけに反応が悪い」、「何度も聞き返す」、「耳をよく触る」などの行動は、聞こえにくくなっているサインの場合があります。



マスクで困っている人に... 手話を使ってみよう!

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活も少しずつ変わりました。感染拡大を予防するためのマスクですが、耳に障害がある人たちは、表情や口の動きが読み取れなくなり不安を感じているそうです。

困っている人を見かけたら、マスクをつけたまま、こんな手話を使ってみるのはいかがでしょうか。

「何か」「お困り」「ですか?」「お願いします」と返事があれば、近くの人と協力してもらったり、紙に書いて話をするなど、自分たちができるお手伝いをしてあげてくださいね。

「お困り」「お願いします」

「何か」「お困り」「ですか?」

「お困り」「お願いします」

「何か」「お困り」「ですか?」

耳の日クイズ! わたしの名前は?

ヒント

- ① 細菌がはいるのを防ぐよ。
 - ② 耳の中の皮膚を守っているよ。
 - ③ 虫が耳に入るのをガードするよ。
- 答えは...、耳あかです。いらないと思われがちですが、役割はいろいろ。いつも耳の健康を守ってくれているのですね。

そんな耳あかもためてしまうと耳がつまって聞こえにくくなります。耳あかは入口近くにたまるので、耳そうじをするときは見える範囲を軽く拭き取りましょう。

入口にたまる理由は、耳あかを自然に外へ出そうとする働きが人に備わっているからです。耳そうじで奥に押し込んでしまわないように注意しましょう。



つながりは、やさしいことば

今まであたりまえにできたことができなくなったとき、「ああ、大切だったんだな」って、感じることはありませんか?

この一年はコロナでできないことがたくさんありました。学校でみんなと会えなかったり、距離をいつも開けていなくちゃいけなかったり。そんな中で「つながる」ことの大切さをつくづく感じていたように思います。

直接会えなくても、くっつけなくても、つながることができるのは、私たちにことばがあるから。だからことばはやさしく、あったかいものにしたいですね。

次の学年でも、みなさんがやさしいことばとともに過ごせますように。

with コロナの今だからこそ。

